

施策評価表

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（課長等）	2年 月 日
2次評価日（部長等）	2年 月 日

1 施策の概要

施策名	スポーツの振興	コード	6-1
この施策の主な内容	市民ひとり1スポーツの実現、競技力の向上、子どものスポーツ機会の充実、スポーツ環境の整備・充実		
第5次総合計画におけるこの施策の目的	生涯にわたりスポーツに親しみ、たくましい心身をもつひとづくりができるよう、「市民ひとり1スポーツ」の実現のため、市民スポーツの一層の推進を図る。		
担当部課	部 教育部	課等	スポーツ振興課
作成者	小河原 義友		

●施策の実施内容（D0）

2 施策指標の達成状況

* 第5次総合計画における目標指標の達成状況(前期基本計画:元年度~5年度)

施策指標名	単位	29年度	30年度	元年度			2年度	5年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① スポーツ施設利用者数	人	310,527	286,068	318,000	277,484	87.3%	318,000	460,000
指標説明	スポーツ施設(市民総合体育館、市民水泳プール、市営庭球場、市営岡谷球場、川岸スポーツ広場、湖畔広場、学校体育施設、やまびこ国際スケートセンター)利用者の合計数							
② 週1回以上運動、スポーツをすると回答した人の割合	%	46.0	-	65.0	55.2	84.9%	65.0	65.0
指標説明	市民アンケート調査で「週1回以上運動、スポーツをする」と回答した人の割合							
③						-		
指標説明								

3 施策全体にかかる合計コストの推移

* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位:千円

	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
直接事業費	21,249	16,737	19,564	18,001
人件費	29,760	29,760	29,760	29,760
合計コスト	51,009	46,497	49,324	47,761

●施策の評価（CHECK）

4 施策の現状評価

* 元年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調/不調の判断

- ・岡谷市体育協会等と連携して各種大会、スポーツ教室を実施し、市民ひとり1スポーツの実現を目指した。
- ・施設利用者数では、市民総合体育館での大規模な大会やイベントが減少したが、トレーニングルームの利用者は増加した。
- ・国体出場は、ボート競技、卓球、水泳、スケートのほか、バレーボール、バスケットボール、軟式野球、セーリング、弓道の出場があった。
- ・スポーツ少年団の登録団数や団員数は、少子化やスポーツ等が多様化するなかで伸び悩んでいる。
- ・2020東京オリンピック、パラリンピックの開催に向け、市民の気運向上を図るため、オリンピックによるアスリートフェスティバルを開催した。
- ・令和元年度より高齢者運動促進事業として、4、7、10、1月の第3木曜日を『元気いきいき岡谷シニアスポーツデー』として、65歳以上の市民を対象に市民総合体育館の一部を無料開放し、高齢者の運動を促進した。

* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み/弱みとなる要因

岡谷市の強み	・スポーツ施設が充実している。 ・(公財)岡谷市体育協会がスポーツ振興の実行組織として機能している。
岡谷市の弱み	・少子高齢化の進行 ・スポーツ施設の老朽化と維持費の増大

5 今後の外部環境の変化

* 令和3年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	・2020年東京オリンピック・パラリンピック及び2027年第82回国民体育大会等の開催にともなうスポーツに対する関心の高まり。
不利に働くもの	・少子高齢化の進行。 ・ライフスタイルの多様化によるスポーツ離れや子どもの体力低下。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 令和3年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	<ul style="list-style-type: none"> 新たに策定した第2次岡谷市スポーツ推進計画である「はつらつ岡谷スポーツプラン」に従った施策を展開する。 スポーツ振興事業では、全ての市民がスポーツを「みる」「する」「ささえる」といった様々な形で積極的にスポーツに関われるようスポーツ環境の充実を図る。また、市民ひとり1スポーツの実現のため、岡谷市スポーツ協会等と連携し、市民ニーズ等も把握しながら、各種大会、教室等に取り組む。 老朽化したスポーツ施設の計画的な改修事業を実施する。
見直しを行う分野	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度より、スケートのまちづくり事業及び、バレーボールのまちづくり事業について、スポーツ振興事業へ統合する。

●令和3年度の優先度

* 方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標			妥当性	方向性	優先度
							29年度	29年度	29年度			
							30年度	30年度	30年度			
							元年度	元年度	元年度			
							2年度(目標)	2年度(予算)	2年度(予算)			
1	一般	なし	なし	スポーツ振興事業	ファミリースポーツプログラム及び教室参加延人数	人	3,864	10,219	18,000	標準	継続して実施	A：拡大
							3,680	9,844	17,200			
							3,316	10,897	17,200			
							17,808	15,657	22,400			
2	一般	なし	なし	スポーツ推進委員活動支援事業	スポーツ推進委員活動延人数	人	229	850	4,000	高い	継続して実施	B：現状維持
							290	844	4,000			
							266	884	4,000			
							290	956	4,000			
3	一般	なし	なし	スケートのまちづくり事業	大会等参加者数	人	3,723	3,692	3,600	高い	2年度より統合	-
							4,001	3,597	2,800			
							3,773	3,684	2,800			
							0	0	0			
4	一般	なし	なし	バレーボールのまちづくり事業	岡谷カップフレンドシップバレーボール大会参加者数	人	1,693	482	800	標準	2年度より統合	-
							1,445	434	2,400			
							1,260	417	2,400			
							0	0	0			
5	公共施設	なし	なし	陸上競技場管理事業	施設稼働率	%	1.2	4,931	800	標準	継続して実施	B：現状維持
							0.9	122	800			
							0.9	97	800			
							-	80	800			
6	公共施設	なし	なし	学校体育施設開放管理事業	施設稼働率	%	67.9	1,075	2,400	高い	継続して実施	B：現状維持
							70.4	1,000	2,400			
							59.3	885	2,400			
							-	1,308	2,400			
7	内部	なし	なし	アイスアリーナ維持事業費	-	-	-	0	160	-	継続して実施	B：現状維持
							-	896	160			
							-	2,700	160			
							-	0	160			
8												
9												
10												